

IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2021年9月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**66社**。
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,774件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**246件**の対象を検知しISPへ通知。

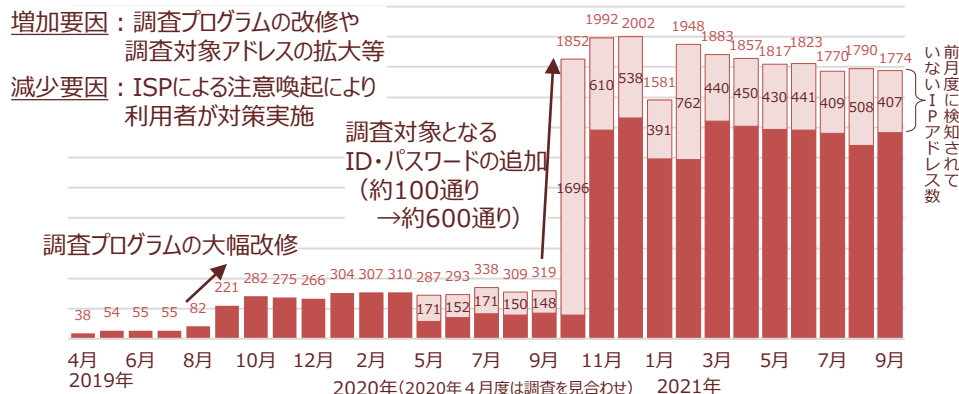
NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの*

1,774件（8月度:1,790件）

（参考）2019年度からの累積件数：25,884件
ID・パスワードが入力可能だったもの：9.6万件

*）特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



NICTER注意喚起※の取組結果

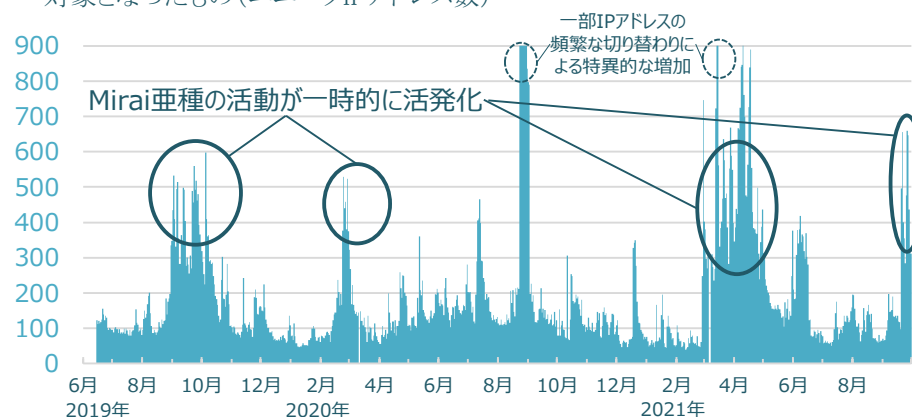
※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

注意喚起対象としてISPへ通知したもの**

1日平均246件（8月度:107件）

（参考）期間全体での値：1日平均199件
最小：40件(2021/2/10)／最大：3,227件(2020/8/24)

**）NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



- ✓ NICTER注意喚起における9月下旬の主な増加要因は、海外でのMirai亜種の活動活発化を受け、脆弱性がありながら対処方法がない国内の機器が感染したことによるものと考えています。